

神奈川県協会で溶接技能伝承の講演会 溶接シミュレータ体験も

神奈川県協会で「溶接技能伝承の講演会」が、11月28日に川崎市産業振興会館で「溶接技能伝承の講演会」と「溶接シミュレータ体験会」を開催した。多くの国内溶接事業所が抱える「技能伝承」に関する課題解決を目的として企画され、会場には36人の参加者が集まり技能伝承の知見を高く

神奈川県溶接協会「めた。」
冒頭の挨拶では、同協会の吉野会長が「近年目にする溶接のデジタル化だが、デジタル技術は、あくまで溶接士の補完という立ち位置であり、日本のものづくりは技能者が軸となる」と強調した。講演会のテーマと講師は次の通り。
▽「溶接技能教育の

今とこれからDXをデジタル化と伝承」(同活用した溶接の技能伝承) (講師IIクリエ氏)
▽「ひずみ補修の技術伝承」(同II総合車両製作所の神田豊氏)
講演の後、



聴講する参加者

「溶接シミュレータ体験会」では、ナツフ溶接トレーニング、ソールドマチックAR溶接シミュレータ、溶接シミュレータ「VRT EX360」の3機の紹介があり、閉会となった。